

川上ダムオオサンショウウオ保全対策検討会 議事要旨

開催日時 令和5年12月6日

開催場所 独立行政法人水資源機構木津川ダム総合管理所川上ダム管理所 会議室

出席委員 6名

【議事】

- (1) 会則の変更について
- (2) 前回検討会のご意見等への対応
- (3) 生息環境の改善
- (4) モニタリング調査結果
- (5) 今後のモニタリング調査等

【審議結果】

委員から、次のとおり指導、助言があった。

- (1) 会則の変更について

○会則の変更について、了承された。

- (2) 前回検討会のご意見等への対応

○保全対策を総合的に評価した報告書には、失敗例も含め整理すること。

- (3) 生息環境の改善

○人工巣穴が流出した場合は、再設置を行う必要はないが、残存している人工巣穴において、設置場所等に問題がある場合は委員の意見等を踏まえ改善を行うこと。

- (4) モニタリング調査結果

○生息域が上流域に拡大したことについて解析すること。

○定住性が高いとされている本種について、上流・下流に移動している個体が少なからず確認されていることから、個々の個体の特徴なども整理・分析し生態の把握に努めること。

○河川生態系の上位種であることから、今後10年以上の継続的な調査と環境変化時の対応なども考えておくこと。

○堰直下流（200m）に確認個体数が多いことの原因として隠れ家が多いことや元々の生息密度が高いことなどもあわせて整理・分析し、評価を行うこと

○調査結果における個体数の表現方法は、令和6年度の調査結果も含めて検討すること。

- (5) 今後のモニタリング調査等

○人工巣穴・遡上路は、今後も維持管理を行うとともに、特に遡上路は、移動の連続性を確保するために補修等の対応も行うこと。

○流入水バイパスの遡上路は、平常時にも水が流れるように構造を改善すること。

以上